

## 企画作品展

“ARMS The 2nd” 創作企画理念

### Exhibition of planning and works

An ideology of planning for creative in "ARMS The 2nd"

デザイン学科・助手

Department of Design・Research Associate

杉野 直也 Naoya SUGINO

## “ARMS The 2nd”展

2007年から企画展示したARMS展に続き、2008年も「ARMS The 2nd展」を開催した。前回と変わった点は、参加出品者の増加、デッサン展示を設けた点である。

### “ARMS The 2nd”展の概要・趣旨

「ものをつくる」「描く」等の行為から創作することの重要性を認識し、創造・想像の可能性を導き出す。また、社会活動(公)と人間活動(私又は個)の再認識を行うことで、芸術活動の特出した重要性を再認識する場としてARMS展開催に至る。

作品制作の条件として、制作者(作家)本人の手による表現であること・素材は実在する物とすること・複製ではなく「一点もの」で制作すること、とした。

### 描く事の意義

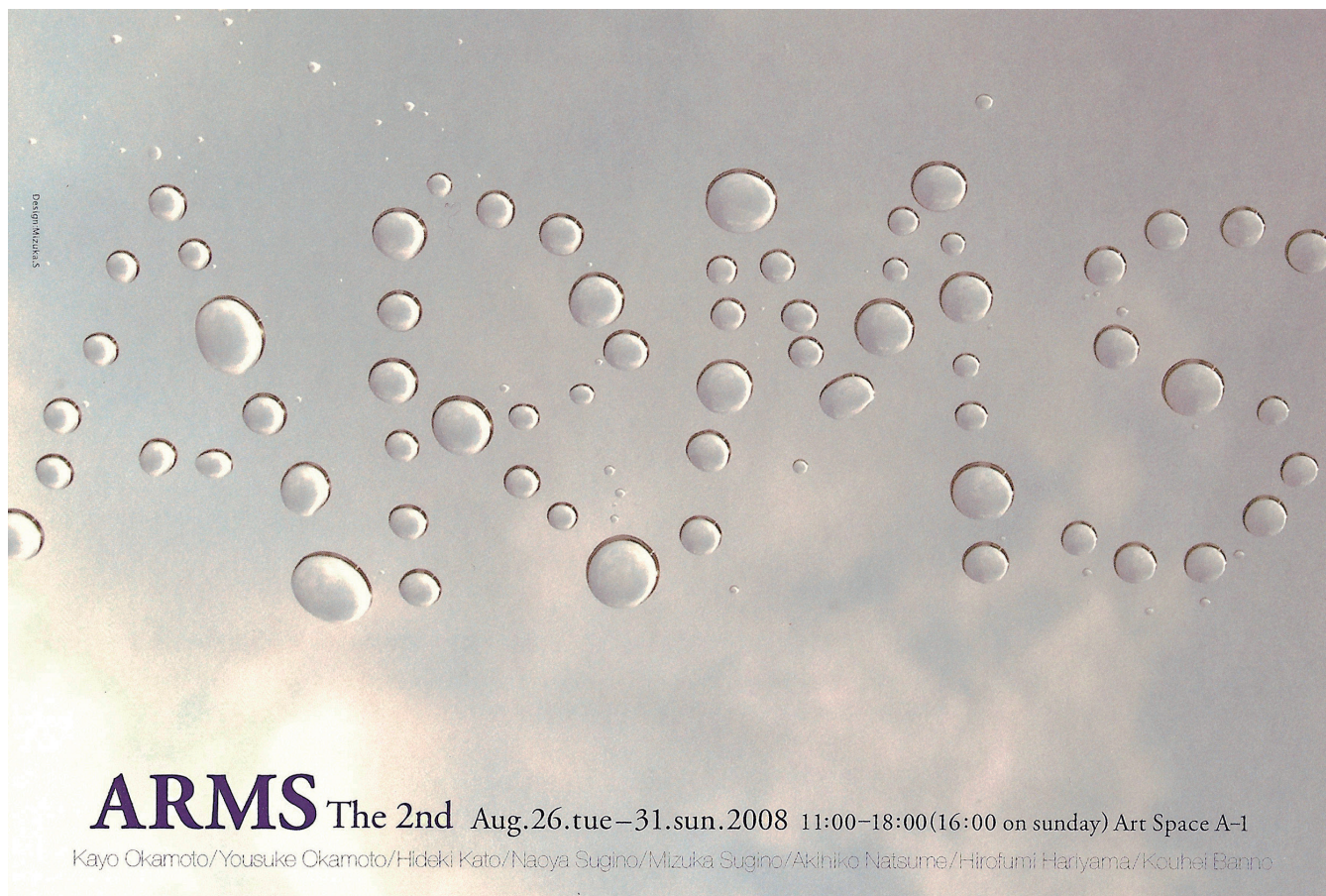
ARMS展における「デッサン展示」は、本人の手により制作し、素材を「紙・筆記用具(今回は鉛筆)」に限定することで、最小限度の身近な素材で、最大限の自己表現の可能性を見いだすことを試みた。「視・聴・嗅・味・触」などの感覚を用いて行う行為は人間の歴史・生活史において、根源的かつ普遍的なものである。「見る・聞く・嗅ぐ・食す・触る」五感を用い、それらを複合して行う行為の中に、美を追求するものとして「芸術・美術」というものがある。

現代社会においては、その性質やカタチを変えて、身体に障害を受けた人などが、再び社会生活に復帰するための総合的なリハビリテーションとして、また、精神・職業的な復帰訓練としても用いられる様になった。実生活では定年退職者やお年寄りの生涯学習としての役割も担っている。

現代社会において、これらの五感を用いて行う行為が、利便性重視の現在、人間自身が作り上げてきた「テクノロジー社会」の中で軽視され、人間としての生理的・本質的な重要性を欠く社会が形成されているのではないだろうか、との思いからデッサンによる展示を「ARMS The 2nd展」に盛り込むこととした。

### ARMS展への思いと展望

現代社会においてデジタル・PCはなくてはならない物となった。その利便性は大きく、情報・通信・経済等、大きな利益・功績を上げ、その恩恵を受けてきた。この先もこの分野では大いなる発展を遂げていくであろう事は容易に想像のつく範囲である。しかしその反面、「テクノロジー重視型の開発・発展」=「人間性の豊かさ」になっているのだろうか、という疑問が起きる。



# ARMS The 2nd Aug.26.tue-31.sun.2008 11:00-18:00(16:00 on sunday) Art Space A-1

Kayo Okamoto/Yousuke Okamoto/Hideki Kato/Naoya Sugino/Mizuka Sugino/Akihiko Natsume/Hirofumi Hariyama/Kouhei Banno

"ARMS The 2nd"使用DM, 2008年/制作:杉野瑞彩氏(グラフィックデザイナー)

現在、後期旧石器時代より製作されている最も古い絵画(洞窟壁画)はショーヴェ洞窟の絵で、これは3万2千年前のものとされている。もっとも有名な壁画(絵画)としては1万6000年前に描かれたとされるフランスのラスコー洞窟にあるものが有名だろう。また、人間が建物を作るようになってからもその壁面に絵画を描くなど、居住や神聖な空間の壁とは切り離せない存在だった。絵画は次第に洞窟や建物の壁面から離れ、独立した板や布(タブロー)に描かれるようになった。

その後絵画は、古代・中世・近世(ルネサンス・バロック)・近代(新古典主義、ロマン主義、写実主義)と印象派、20世紀美術へと多様化・進化し、現在の21世紀まで、素材を用い描き続けられている。

多様化したデジタル・PCを中心とするテクノロジー型社会において「描く」という人間の根源的な行為は、今後どのような進化を遂げるのか。

紙も鉛筆も消え去る社会がやってくるかは疑問だが、やはり手を介して「描く」また「創る」という行為は人間である以上、重要だと考える。それは、人間が生身で、感情を持った生き物だからだろう。

本展覧会は、テクノロジー重視の問題点を指摘・批判するものではなく、また、アナログの重要性を強調するものでもなく、双方の重要性の認識と、「人間」の本来持つ感性や創造性、可能性を導き出すことを目的としたものである。

## 謝辞

「ARMS The 2nd」展開催にあたり、参加、ご協力いただきました岡本洋介氏(グラフィックデザイナー)、岡本佳代氏(建築家・インテリアデザイナー)、坂野晃平氏(造形作家)、夏目明彦氏(日本画家)、張山裕史氏(鍛冶・鋳物師)、加藤秀樹氏(陶芸家)、杉野瑞彩氏(グラフィックデザイナー)に、御礼申し上げます。

参考文献  
大辞泉 増補・新装版(デジタル大辞泉)





デッサン「鰺」, 2008年／素材:四つ切り画用紙, 鉛筆





ARMS The 2nd 展, 2008年／会場: ArtSpaceA-1・2F



ARMS The 2nd 展, 2008年／会場: ArtSpaceA-1・3F